

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】令和 2 年 2 月 6 日 (2020.2.6)

【公開番号】特開 2019-55355 (P2019-55355A)

【公開日】平成 31 年 4 月 11 日 (2019.4.11)

【年通号数】公開・登録公報 2019-014

【出願番号】特願 2017-180339 (P2017-180339)

【国際特許分類】

B 0 1 D 53/50 (2006.01)

B 0 1 D 53/78 (2006.01)

B 0 1 D 53/18 (2006.01)

B 0 5 B 1/20 (2006.01)

【F I】

B 0 1 D 53/50 2 0 0

B 0 1 D 53/78 Z A B

B 0 1 D 53/18 1 5 0

B 0 5 B 1/20 1 0 1

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 12 月 17 日 (2019.12.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

排ガスの通路となる吸収塔と、  
前記吸収塔の内部に配置されるスプレイパイプと、を備える脱硫装置であって、  
前記スプレイパイプが、  
先端部が閉塞された筒状のパイプ部と、  
前記パイプ部に取り付けられる第 1 フランジ部と、  
前記パイプ部の鉛直方向の下部に取り付けられた脚部と、を備え、  
前記吸収塔が、  
側方に向けて開口する開口穴と、  
該開口穴の周囲に配置される第 2 フランジ部と、を備え、  
前記第 1 フランジ部と前記第 2 フランジ部とが、着脱可能に取り付けられており、  
前記脚部の鉛直方向の下端の位置が、前記開口穴の鉛直方向の下端の位置よりも低く配置された脱硫装置。

【請求項 2】

所定数の前記スプレイパイプを備え、  
前記吸収塔が、  
前記所定数の前記開口穴と、  
前記所定数の前記第 2 フランジ部と、を備え、  
前記所定数の前記第 2 フランジ部のそれぞれに、前記所定数の前記第 1 フランジ部が一対で取り付けられている請求項 1 に記載の脱硫装置。

【請求項 3】

前記パイプ部の軸線が水平方向に沿って延び、前記軸線の鉛直方向の位置が、前記開口穴の鉛直方向の中心位置よりも低く配置された請求項 1 に記載の脱硫装置。

**【請求項 4】**

前記パイプ部は、下端部が前記開口穴に接触しない状態で配置される請求項 1 から請求項 3 のいずれか一項に記載の脱硫装置。

**【請求項 5】**

前記開口穴は矩形である請求項 1 から請求項 4 のいずれか一項に記載の脱硫装置。

**【請求項 6】**

前記第 1 フランジ部と前記第 2 フランジ部の形状は、矩形である請求項 5 に記載の脱硫装置。

**【請求項 7】**

前記スプレイパイプが、      

前記パイプ部の鉛直方向の上部の複数箇所に配置されて前記パイプ部を水平方向に流通する吸収液を鉛直方向の上方へ導く複数のノズルホルダと、

前記複数のノズルホルダのそれぞれに着脱可能に取り付けられ、吸収液を鉛直方向の上方に吐出するスプレイノズルと、を備え、

前記吸収塔に設置されて前記スプレイパイプを支持するとともに第 2 面を有する支持部を備え、

前記スプレイパイプが、前記脚部が有する第 1 面を前記第 2 面に対向させた状態で前記支持部に支持されており、

鉛直方向において、前記開口穴の下端部から上端部までの高さが前記脚部の前記第 1 面から前記ノズルホルダの上端部までの高さよりも高い請求項 1 から請求項 4 のいずれか一項に記載の脱硫装置。

**【請求項 8】**

前記吸収塔を側方からみた場合、前記第 1 フランジ部および前記第 2 フランジ部は、鉛直方向の上端および下端を通過する水平線と水平方向の左端および右端が通過する鉛直線とが交わる 4 箇所の角部が切り欠かれた形状である請求項 1 から請求項 7 のいずれか一項に記載の脱硫装置。

**【請求項 9】**

前記吸収塔を側方からみた場合、前記第 1 フランジ部の水平方向の左端および右端の中心の位置と、前記パイプ部の中心位置とが、水平方向に離間している請求項 1 から請求項 8 のいずれか一項に記載の脱硫装置。